

長岡市議会
議員政策研究会
阪急長岡天神駅周辺整備分科会

調査研究報告書

令和7年8月12日

1. 調査研究項目及び手法

(1) 調査研究項目

阪急長岡天神駅周辺整備について

(2) 調査研究項目の具体的な内容

平成31年3月に策定された阪急長岡天神駅周辺整備計画のもと、現在、阪急長岡天神駅周辺整備事業として「東地区」と「西地区」に区分けして、地元や関係者と連携しながら具体的なまちづくりが進められている。また、事業者が京都府である阪急長岡天神駅の連続立体交差事業との一体的な整備も必要となる。

このような状況の中、阪急長岡天神駅周辺整備事業を今後、どのように進めていくべきかを論議するために、調査研究を進めたものである。

(3) 研究手法

①意見交換

阪急長岡天神駅周辺整備について委員間で意見交換を行った。

②実態調査

阪急長岡天神駅東地区・西地区それぞれの市街地整備事業について、現段階での事業報告のもと意見交換を行った。

③最終報告書の作成

これまでの分科会での調査結果や議論を踏まえて、最終報告書を作成した。

2. 委員名簿

議員政策研究会 阪急長岡天神駅周辺整備分科会

分科会会长 三木 常照

分科会副会長 福島 和人

委員 干場 志都恵

委員 中村 亮太

委員 小谷 宗太郎

委員 小原 明大

委員 上村 真造

委員 八木 浩

3. 調査研究の実施経過

1	令和6年 6月25日	・分科会正副会長の互選について ・今後の進め方について
2	令和6年 7月23日	・研究項目について
3	令和6年 8月23日	・本市の現状について（調査） 阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 地権者検討会の取組状況
4	令和6年10月31日	・阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業 地権者検討会の取組状況（意見交換）
5	令和7年 3月 4日	・本市の現状について（調査） 阪急長岡天神駅西地区市街地整備事業西地区整備計画（素案）について 阪急長岡天神駅東 暫定ロータリー及び暫定駐輪場について
6	令和7年 6月18日	・調査研究報告書（案）について
7	令和7年 8月12日	・調査研究報告書（案）について

4. 調査研究のまとめ

本分科会では、令和6年6月から7回にわたって会議を開催し、現在整備が進められている阪急長岡天神駅周辺整備における計画状況、阪急長岡天神駅東西それぞれの南北道路、地権者への補償等の対応について議論を重ねてきた。

これらの各会議での意見交換や、現段階での各事業の報告に基づく各委員からの意見については以下の通りであった。

- ・面的な事業であることや、京都府事業である連続立体交差事業もあることから、何十年とかかる事業であり、全てがすぐに動き出せるものではないことは共通認識として持つべき。
- ・事業を進めていくにあたって、地権者との協議は十二分に進める必要がある。自らの財産を変えることは生活に大きな影響が出てくる。
- ・西地区市街地整備事業において、再開発事業の案がいくつか示された中で、民間だけでなく公共部分を生み出す部分もある。この公共部分は税負担ということになるので、計画が進む中で規模や負担部分の課題は議論をする必要がある。
- ・東地区市街地整備事業の暫定公園の完成など、事業の進捗が目に見えると、市民の方もまちづくりの意識が芽生えてくる。